

大学番号 私立155

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

北陸大学 国際コミュニケーション学部 心理社会学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人北陸大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部	
職名・氏名	キカクチヨウ 企画課長	フクムラ ヤスタカ 福村 靖貴
電話番号	076-229-1161	
（夜間）	076-229-1161	
e-mail	kikaku@hokuriku-u.ac.jp	

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際コミュニケーション学部

＜心理社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人北陸大学

(2) 大学名

北陸大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1180

石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成25年1月)		
学 長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成24年1月)		
学 部 長	(ヒモリ リュウイチ) 桧森 隆一 (平成29年4月)		
学科長等	(ハヤシ ヨウイチ) 林 洋一 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際コミュニケーション学部 心理社会学科 学士(心理学)	文学関係	4年	45人	— 年次人	180人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	45 (—) [—]	— (—) [—]	1.02倍	—倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	215 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	211 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	136 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	46 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		1.02				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	46 [—] (—)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	46 [—] (—)

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人	
平成30年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	— 人	— 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	46 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際コミュニケーション学部 心理社会学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	北陸大学の学び	1前	1								2
	自然科学概論	1後		2							1
	哲学	1前		2							1
	社会学	1前		2					1		
	芸術学	1後		2							1
	経済学	2前		2							1
	ジェンダー論	2前		2							1
	日本史	1前		2							1
	日本国憲法	2前		2							1
	スポーツI	1前		1							1
	スポーツII	1後		1							1
	スポーツ科学	2前		2							1
	情報処理入門	1前	1				1			1	
	情報処理応用	1後		1			1			1	
外国語科目	English Communication I	1前	1								2
	English Communication II	1後	1								2
	総合英語I	2前		2							1
	総合英語II	2後		2							1
	総合英語III	3前		2							1
	総合英語IV	3後		2							1
	中国語会話	2前		1							1
キャリア科目	PBL入門	1後		2				1	1		1
	現代社会と職業	2後		2							1
	コミュニケーション技法I	2前		2				1			1
	コミュニケーション技法II	3後		2			1				2
	体験学習I	1後		1							1
	体験学習II	2前		1							1
	職業理解とインターンシップ	3前		2							2
海外インターンシップ	2前		1							1	
小計(29科目)	-	4	43	0	0	2	1	1	0	18	
専門教育科目	心理学概論I	1前	2				1				
	心理学概論II	1後	2			2					
	心理学統計法	1後		2		1					
	心理学研究法	1後		2				1			
	心理学実験I	2前		2		1	1	1	1		
	心理学実験II	2後		2		1	1	1	1		
	心理社会データ解析	3前		2				1			
	心理調査概論	2前		2		1					
	心理学英文講読	3後		2			1				
	心理学特殊講義I	3後		2		1					
	心理学特殊講義II	4前		2		1					
	心理学基礎演習I	1前	2			3	2	1	1		
	心理学基礎演習II	1後	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールI	2前	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールII	2後	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールIII	3前	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールIV	3後	2			3	2	1	1		
	卒業研究I	4前	2			3	2	1	1		
	卒業研究II	4後	2			3	2	1	1		
小計(19科目)	-	20	18	0	3	2	1	1	0	0	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	北陸大学の学び	1前	1								2
	自然科学概論	1後		2							1
	哲学	1前		2							1
	社会学	1前		2						1	
	芸術学	1後		2							1
	経済学	2前		2							1
	ジェンダー論	2前		2							1
	日本史	1前		2							1
	日本国憲法	2前		2							1
	スポーツI	1前		1							1
	スポーツII	1後		1							1
	スポーツ科学	2前		2							1
	情報処理入門	1前	1						1		1
	情報処理応用	1後		1					1		1
外国語科目	English Communication I	1前	1								2
	English Communication II	1後	1								2
	総合英語I	2前		2							1
	総合英語II	2後		2							1
	総合英語III	3前		2							1
	総合英語IV	3後		2							1
	中国語会話	2前		1							1
キャリア科目	PBL入門	1後		2					1	1	2
	現代社会と職業	2後		2							1
	コミュニケーション技法I	2前		2					1		1
	コミュニケーション技法II	3後		2				1			2
	体験学習I	1後		1							1
	体験学習II	2前		1							1
	職業理解とインターンシップ	3前		2							2
海外インターンシップ	2前		1							1	
小計(29科目)	-	4	43	0	0	2	1	1	0	18	
専門教育科目	心理学概論I	1前	2				1				
	心理学概論II	1後	2			2					
	心理学統計法	1後		2		1					
	心理学研究法	1後		2					1		
	心理学実験I	2前		2		1	1	1	1		
	心理学実験II	2後		2		1	1	1	1		
	心理社会データ解析	3前		2					1		
	心理調査概論	2前		2		1					
	心理学英文講読	3後		2			1				
	心理学特殊講義I	3後		2		1					
	心理学特殊講義II	4前		2		1					
	心理学基礎演習I	1前	2			3	2	1	1		
	心理学基礎演習II	1後	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールI	2前	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールII	2後	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールIII	3前	2			3	2	1	1		
	心理学ゼミナールIV	3後	2			3	2	1	1		
	卒業研究I	4前	2			3	2	1	1		
	卒業研究II	4後	2			3	2	1	1		
小計(19科目)	-	20	18	0	3	2	1	1	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	現代社会科目	海外研修A	2前・後	1							1	
	海外研修B	2前・後	1								1	
	短期海外研修	1・2・3前・後	1								1	
	海外語学研修A	1・2・3前・後	2								1	
	海外語学研修B	1・2・3前・後	2								1	
	海外留学A	1・2・3前・後	6								1	
	海外留学B	1・2・3前・後	6								1	
	海外留学C	1・2・3前・後	6								1	
	海外留学D	1・2・3前・後	6								1	
	小計(38科目)	-	0	89	0	2	0	0	0	0	0	15
合計(122科目)			-	28	218	0	3	2	1	1	0	28

卒業要件及び履修方法

総合教育科目【必修】4単位
【選択】16単位 計20単位以上
専門教育科目【必修】24単位
【選択】共通領域及び展開応用科目から58単位以上
現代社会科目から22単位以上
計124単位以上
(履修科目の登録の上限:42単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	現代社会科目	海外研修A	2前・後	1							1	
	海外研修B	2前・後	1								1	
	短期海外研修	1・2・3前・後	1								1	
	海外語学研修A	1・2・3前・後	2								1	
	海外語学研修B	1・2・3前・後	2								1	
	海外留学A	1・2・3前・後	6								1	
	海外留学B	1・2・3前・後	6								1	
	海外留学C	1・2・3前・後	6								1	
	海外留学D	1・2・3前・後	6								1	
	小計(38科目)	-	0	89	0	2	0	0	0	0	0	15
合計(122科目)			-	28	218	0	3	2	1	1	0	28

卒業要件及び履修方法

総合教育科目【必修】4単位
【選択】16単位 計20単位以上
専門教育科目【必修】24単位
【選択】共通領域及び展開応用科目から58単位以上
現代社会科目から22単位以上
計124単位以上
(履修科目の登録の上限:42単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・ 「PBL入門」は、担当者調整により専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	106 科目	0 科目	122 科目	16 科目	106 科目	0 科目	122 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	91,775.85 m ²	0 m ²	0 m ²	91,775.85 m ²			
	運動場用地	43,500.49 m ²	0 m ²	0 m ²	43,500.49 m ²			
	小 計	135,276.34 m ²	0 m ²	0 m ²	135,276.34 m ²			
	そ の 他	337,786.99 m ²	0 m ²	0 m ²	337,786.99 m ²			
	合 計	473,063.33 m ²	0 m ²	0 m ²	473,063.33 m ²			
(2) 校舎	専 用	58,305.62 m ²	0 m ²	0 m ²	58,305.62 m ²			
	(58,305.62 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(58,305.62 m ²)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	40 室	62 室	129 室	5 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際コミュニケーション学部 心理社会学科			7 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]
	冊	種	点	点	点			
	国際コミュニケーション学部 心理社会学科	1392 [33] (1356 [1])	3 [3] (1 [1])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	98 (71)	0 (0)	
計	1392 [33] (1356 [1])	3 [3] (1 [1])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	98 (71)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	3,689.34 m ²	635	162,000					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,456.86 m ²	テニスコート3面（人工芝） サッカー場2面（人工芝）						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	180千円	180千円	図書購入費	4,496千円	600千円	600千円
		共同研究費等	15,000千円	15,000千円	設備購入費	10,093千円	1,566千円	1,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	北 陸 大 学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
薬学部	6	125	-	750	-	0.55	0.57	-	平成18	-	
薬学科	6	125	-	750	学士(薬学)	0.55	0.57	-	平成18	石川県金沢市金川町木3番地	定員変更(△35)
経済経営学部	4	290	3年次108	1,376	-	1.10	0.89	-	平成20	-	
マネジメント学科	4	290	3年次108	1,376	学士(マネジメント学)	1.10	0.89	-	平成20	石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地	定員変更(△15)
国際コミュニケーション学部	4	125	3年次40	580	-	1.06	0.85	-	平成29	-	
国際コミュニケーション学科	4	80	3年次40	400	学士(文学)	1.04	0.76	-	平成29	同上	編入学定員変更(20)
心理社会学科	4	45	-	180	学士(心理学)	1.02	1.02	-	令和3	同上	
医療保健学部	4	65	-	260	-	1.06	0.93	-	平成29	-	
医療技術学科	4	65	-	260	学士(医療技術学)	1.06	0.93	-	平成29	同上	定員変更(5)
未来創造学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成20	-	平成29年学生募集停止
国際教養学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	平成20	同上	
大学全体	-	605	148	2,966	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	〇 〇 短 期 大 学						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
該当なし											

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際コミュニケーション学部 心理社会学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	林 洋 一 <令和3年4月> 文学修士※
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習 心理実習
専	教授	河 野 俊 寛 <令和4年4月> 博士(学術)
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理学特殊講義Ⅱ 心理実習

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	林 洋 一 <令和3年4月> 文学修士※
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習 心理実習
専	教授	河 野 俊 寛 <令和4年4月> 博士(学術)
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理学特殊講義Ⅱ 心理実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小島 弥生 <令和3年4月> 修士(心理学)※
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ
専	准教授	後藤 和史 <令和3年4月> 修士(心理学)※
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅰ 臨床心理学概論 心理学的支援法 感情・人格心理学 心理的アセスメント 健康・医療心理学 司法・犯罪心理学 心理演習 心理実習 コミュニケーション技法Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小島 弥生 <令和3年4月> 修士(心理学)※
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ
専	准教授	後藤 和史 <令和3年4月> 修士(心理学)※
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅰ 臨床心理学概論 心理学的支援法 感情・人格心理学 心理的アセスメント 健康・医療心理学 司法・犯罪心理学 心理演習 心理実習 コミュニケーション技法Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谿 雄 祐 <令和4年4月> 博士(心理学)
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報処理入門 情報処理応用 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 知覚・認知心理学 心理学英文講読
専	講師	仲 嶺 実 甫 子 <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理社会データ解析 心理演習 心理実習 PBL入門 コミュニケーション技法Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谿 雄 祐 <令和4年4月> 博士(心理学)
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 情報処理入門 情報処理応用 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 知覚・認知心理学 心理学英文講読
専	講師	仲 嶺 実 甫 子 <令和3年4月> 博士(心理学)
		心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理社会データ解析 心理演習 心理実習 PBL入門 コミュニケーション技法Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	西浦真喜子 <令和3年4月> 修士(人間科学)※
		心理学基礎演習Ⅰ
		心理学基礎演習Ⅱ
		心理学ゼミナールⅠ
		心理学ゼミナールⅡ
		心理学ゼミナールⅢ
		心理学ゼミナールⅣ
		卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ
		情報処理入門
		情報処理応用
		心理学実験Ⅰ
心理学実験Ⅱ		
社会調査論		
社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)		
社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)		
質的研究法		
社会心理学調査演習Ⅰ		
社会心理学調査演習Ⅱ		
PBL入門		
社会学		
兼任	教授	小倉勤 <令和3年4月> 医学博士
		北陸大学の学び※
兼任	教授	桧森隆一 <令和3年4月> 修士(政治学)
		現代社会と職業
		現代日本論
		職業理解とインターンシップ
		体験学習Ⅰ
		体験学習Ⅱ
		海外インターンシップ
		海外研修A
		海外研修B
		短期海外研修
		海外留学A
		海外留学B
海外留学C		
海外留学D		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	西浦真喜子 <令和3年4月> 修士(人間科学)※
		心理学基礎演習Ⅰ
		心理学基礎演習Ⅱ
		心理学ゼミナールⅠ
		心理学ゼミナールⅡ
		心理学ゼミナールⅢ
		心理学ゼミナールⅣ
		卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ
		情報処理入門
		情報処理応用
		心理学実験Ⅰ
心理学実験Ⅱ		
社会調査論		
社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)		
社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)		
質的研究法		
社会心理学調査演習Ⅰ		
社会心理学調査演習Ⅱ		
PBL入門		
社会学		
兼任	教授	小倉勤 <令和3年4月> 医学博士
		北陸大学の学び※
兼任	教授	桧森隆一 <令和3年4月> 修士(政治学)
		現代社会と職業
		現代日本論
		職業理解とインターンシップ
		体験学習Ⅰ
		体験学習Ⅱ
		海外インターンシップ
		海外研修A
		海外研修B
		短期海外研修
		海外留学A
		海外留学B
海外留学C		
海外留学D		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中康友 <令和3年4月> 博士(国際政治学)
		国際関係学入門 国際関係史 現代アメリカ論 国際協力論 コミュニケーション技法Ⅱ
兼任	教授	村田和弘 <令和3年4月> 文学修士※
		海外語学研修B ことばと文化
兼任	教授	福江充 <令和3年4月> 博士(文学)
		日本史 宗教学 北陸の文化と社会 文化資源学入門 文化資源学(歴史・民俗) 文化資源学(史跡・名勝地)
兼任	教授	光本泰秀 <令和3年4月> 薬学博士
		北陸大学の学び※
兼任	教授	五味一成 <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)
		経営組織論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中康友 <令和3年4月> 博士(国際政治学)
		国際関係学入門 国際関係史 現代アメリカ論 国際協力論 コミュニケーション技法Ⅱ
兼任	教授	村田和弘 <令和3年4月> 文学修士※
		海外語学研修B ことばと文化
兼任	教授	福江充 <令和3年4月> 博士(文学)
		日本史 宗教学 北陸の文化と社会 文化資源学(歴史・民俗) 文化資源学(史跡・名勝地)
兼任	講師	伊藤梢 <令和3年4月> 博士(学術)
		文化資源学入門
兼任	教授	板倉栄一郎 <令和3年4月> 修士(教育学)
		北陸大学の学び※
兼任	教授	五味一成 <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)
		経営組織論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	南谷直利 <令和3年4月> 教育学修士
		スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	二ノ倉欣久 <令和3年4月> 博士(医学) 人体の構造と機能及び疾病 神経・生理心理学 精神疾患とその治療
兼任	准教授	福山悠介 <令和3年4月> 修士(政策・メディア) PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ
兼任	准教授	轟里香 <令和3年4月> 修士(文学)※ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 言語学入門
兼任	准教授	島義博 <令和4年4月> 修士(経済学)※ 経済学
兼任	講師	佃貴弘 <令和4年4月> 博士(法学) 日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大日向茂樹 <令和3年4月> 体育学士 スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	教授	二ノ倉欣久 <令和3年4月> 博士(医学) 人体の構造と機能及び疾病 神経・生理心理学 精神疾患とその治療
兼任	教授	福山悠介 <令和3年4月> 修士(政策・メディア) PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ
兼任	准教授	轟里香 <令和3年4月> 修士(文学)※ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 言語学入門
兼任	准教授	島義博 <令和4年4月> 修士(経済学)※ 経済学
兼任	講師	佃貴弘 <令和4年4月> 博士(法学) 日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	階戸陽太 <令和3年4月> 博士(教育学)
		ことばと文化 海外語学研修A
兼任	講師	吉田明代 <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 言語学入門 英語圏の文化と社会 英米文学史
兼任	講師	島田博行 <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化 言語学入門
兼任	講師	Andrew Gergely <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)
		English Communication I English Communication II
兼任	講師	雨野モリー <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)
		English Communication I English Communication II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田明代 <令和3年4月> 修士(学術)※
		海外語学研修A
兼任	講師	吉田明代 <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 言語学入門 英語圏の文化と社会 英米文学史
兼任	講師	島田博行 <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化 言語学入門
兼任	講師	Andrew Gergely <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)
		English Communication I English Communication II
兼任	講師	David Isaacs <令和3年4月> Master of Arts (Teaching English as a Second Language) (米国)
		English Communication I English Communication II

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川端健司 <令和4年4月> 修士(教育学)
		スポーツ科学
兼任	助教	日下恭輔 <令和5年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論 マーケットリサーチ論
兼任	講師	細見博志 <令和3年4月> 文学修士
		哲学
兼任	講師	高寺恒雄 <令和3年4月> 薬学博士
		自然科学概論
兼任	講師	相原征代 <令和4年4月> 博士(社会学)
		ジェンダー論 国際社会論 現代ヨーロッパ論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川端健司 <令和4年4月> 修士(教育学)
		スポーツ科学
兼任	助教	日下恭輔 <令和5年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論 マーケットリサーチ論
兼任	講師	神戸和佳子 <令和3年4月> 修士(教育学)※
		哲学
兼任	助教	宮地諒 <令和3年4月> 博士(保健学)
		自然科学概論
兼任	准教授	相原征代 <令和4年4月> 博士(社会学)
		ジェンダー論 国際社会論 現代ヨーロッパ論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	廣田 いずみ <令和3年4月> 芸術学士
		芸術学 文化資源学(美術・工芸) 観光ビジネス論 文化資源学(世界遺産)
兼任	講師	南 明 世 <令和4年4月> 修士(学術)
		中国語会話 中国の文化と社会
兼任	講師	荷 方 邦 夫 <令和4年4月> 博士(心理学)
		消費者行動論
兼任	講師	横 山 真 美 <令和3年4月> 修士(教育学)
		異文化間コミュニケーション
兼任	講師	石 倉 瑞 恵 <令和4年4月> 修士(教育学)
		教育社会学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	廣田 いずみ <令和3年4月> 芸術学士
		芸術学 文化資源学(美術・工芸) 観光ビジネス論 文化資源学(世界遺産)
兼任	講師	南 明 世 <令和4年4月> 修士(学術)
		中国語会話 中国の文化と社会
兼任	講師	荷 方 邦 夫 <令和4年4月> 博士(心理学)
		消費者行動論
兼任	講師	横 山 真 美 <令和3年4月> 修士(教育学)
		異文化間コミュニケーション
兼任	講師	石 倉 瑞 恵 <令和4年4月> 修士(教育学)
		教育社会学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・伊藤梢講師の就任に伴い、福江充教授（兼任）担当科目「文化資源学入門」を伊藤梢講師（兼任）に担当者を変更。
- ・光本泰秀教授（兼任）担当科目「北陸大学の学び」を担当者調整により、板倉栄一郎教授（兼任）に担当者を変更。
- ・南谷直利教授（兼任）担当科目「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」を担当者調整により、大日向茂樹講師（兼任）に担当者を変更。
- ・二ノ倉欣久講師（兼任）の職名を「講師」から「教授」に変更。
- ・福山悠介准教授（兼任）の職名を「准教授」から「教授」に変更。
- ・階戸陽太講師（兼任）退職。「ことばと文化」は他の兼任教員で担当するため、実施に特段の支障はない。「海外語学研修A」は、吉田明代講師（兼任）に担当者を変更。
- ・David Isaacs講師の就任に伴い、雨野モリー講師（兼任）担当科目「English CommunicationⅠ」「English CommunicationⅡ」をDavid Isaacs講師（兼任）に担当者を変更。
- ・川端健司講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・神戸和佳子講師（兼任）の就任に伴い、細見博志講師（兼任）担当科目「哲学」を神戸和佳子講師に担当者を変更。
- ・宮地諒助教（兼任）の就任に伴い、高寺恒雄講師（兼任）担当科目「自然科学概論」を宮地諒助教に担当者を変更。
- ・相原征代講師（兼任）の専任・兼任・兼任の別を「兼任」から「兼任」、職名を「講師」から「准教授」に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
3	2	1	1	7	0	2	1	1	1	5	0
(2)	(1)	(1)	(1)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
3	2	1	1	7	0	3	2	1	1	7	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{5} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	#####	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	#####	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	#####	科目
		計	#VALUE!	科目	計	#####	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和2年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 本学就業規則に定める定年年齢（満65歳）を超えて採用した専任教員については、任期满了後、公募により適切な教員任用を図る。教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野を考慮し、計画的に進めていく。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際コミュニケーション学部 心理社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 北陸大学FD・SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 第1回（令和3年5月12日開催予定）

c 委員会の審議事項等

- ・ 授業参観に関する事項
- ・ 授業中間アンケートに関する事項
- ・ 学修アンケート（授業評価アンケート）に関する事項
- ・ 教学IRに関する事項
- ・ FD・SD研修会に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

(1) FD・SD研修会

【大学全体FD・SD研修会】

(FD・SD研修会)

- ・ 誰の何のための教学マネジメントか
～グランドデザイン答申と教学マネジメントがいう学修者本位の教育に向けて
2020年7月7日（火）（共愛学園前橋国際大学 学長 大森 昭生）
- ・ 教学マネジメント体制とIR
2020年10月16日（金）（山形大学学術研究院 教授 浅野 茂）
- ・ 大学を動かすものとしての広報 ―広報3.0とは―
2021年3月5日（金）（新島学園短期大学 学長 岩田 雅明）

(2) 授業参観

前期・後期に授業公開週間を定め、学部の参観推奨科目を示している。参観者は、授業参観シートを提出し、授業担当者には自由記述欄をフィードバックしている。

(3) 授業中間アンケート等

学生の理解度を把握するために授業中間アンケートの実施をすすめており、実施状況は、学期末の「自己点検評価書」で確認している。

b 実施方法

(1) FD・SD研修会

【学内FD・SD研修会】

全教職員宛に実施案内をメール配信し、参加を促している。

各研修会では、事前に研修の「一般目標」「到達目標」を示し、参加者にはアンケートを実施し、目標達成度の自己評価を含めた参加報告を行っている。

【学外FD研修会】

北陸大学FD・SD研修会において、参加を推奨する研修会については、全教職員宛に案内もしくは委員を通じて、学部より参加者を募り、研修に係る経費補助を行っている。

(2) 授業参観

全教職員宛に、授業参観期間及び参観推奨科目をメール配信にて通知している。

(3) 授業中間アンケート等

小テスト、ミニツツペーパー、アンケート等、科目担当者に実施方法は任せている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年度当初に北陸大学FD・SD委員会にて大学全体及び学部FD・SD研修会の年間スケジュールを計画している。

業務に支障がある場合を除き、原則、全教職員が研修会に参加することとなっており、欠席者に対しては、録画視聴、資料配布等を行っている。また、他学部主催のFD研修会にも参加が可能となっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後の北陸大学FD・SD委員会で検証

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期（7月）、後期（1月）に全ての科目において、Web上で学修アンケート（授業評価アンケート）を実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は、教員及び学生に対してWeb上で公開予定である。学修アンケート（授業評価アンケート）の結果を受け、科目担当教員は、「自己点検評価書」を作成し、評価書についても学内公開予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現在、設置の趣旨・目的に基づき計画を履行している。開設1年目（令和3年度）は募集人員45人に対し46人が入学、定員充足率は1.02倍であったことから、本学科が認知されたいと考える。4月の新入生ガイダンス（フレッシュマンセミナー）、授業（心理学基礎演習Ⅰ）内において、本学科の目標は学生に浸透しており、選択科目も多くの学生が積極的に履修している。次年度以降も、パンフレットやホームページ、進学ガイダンス等の手段・機会を積極的に活用し、本学科の教育内容を受験生に十分伝え、学習意欲の高い入学生を迎えることで、教育・研究活動がさらに充実するよう努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和3年4月30日 公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。